

政府予算に関する要望

【四国の新幹線に係る法定調査実施など】

令和7年8月

香川県市町長四国新幹線整備促進期成会

要 望

四国の新幹線の早期実現のため、整備計画への格上げに向けた法定調査の実施に係る予算措置を早急に講じていただきたく、要望いたします。

【課題・取組】

- 四国地域においては、半世紀以上もの間、新幹線が基本計画にとどまっており、現在、四国だけが新幹線空白地域となっています。四国の新幹線沿線の人口集積（1 km 当たり人口 11,050 人）は、北陸新幹線（1 km 当たり人口 6,370 人）や北海道新幹線（1 km 当たり人口 5,970 人）の沿線の人口集積と比較しても何ら遜色ありません。全国的に、地方創生の取組みが本格的に進められる中、このままでは整備された地域と、そうでない地域との格差はますます広がり、交流圏や交流人口の拡大による経済発展や観光振興などの足かせになるものと強い危機感を抱いています。
- 高規格な新幹線の構造物は、地震などの災害に対して強く、災害時に不通となる可能性のある在来線の代替経路としての活用や、近い将来に発生が予想される南海トラフ地震等の避難及び災害復旧に必要な物資輸送等を可能とするものであり、災害被害に対する四国の強靱化（レジリエンス）に向けて、早急な整備が求められています。
- こうした中、令和6年2月22日に、香川県内全ての市長及び町長が一丸となり、四国の新幹線の整備による地域活性化と、未来に繋がるまちづくりを推進することを目的とした、「香川県市町長四国新幹線整備促進期成会」を設立しました。本年2月16日には、本期成会の後援のもと、高松市主催による『みんなで考える四国の新幹線シンポジウム in 高松』が開催され、900名を超える多くの参加者に、四国への新幹線の整備効果や必要性について御理解いただきました。また、参加者へのアンケート調査では、約9割の方が四国の新幹線整備を望む結果となり、地域住民からも、四国の新幹線の整備が強く求められています。
- 今後も、本期成会の枠組みを生かし、四国新幹線の導入の意義や役割、また、整備事業費や並行在来線の在り方などに関する議論が進展し、四国の新幹線の早期実現に向けた機運が高まるよう様々な活動を行ってまいります。

令和7年8月

香川縣市町長四国新幹線整備促進期成会

会	長	高	松	市	長	大	西	秀	人
副	会	観	音	寺	市	佐	伯	明	浩
副	会	宇	多	津	町	谷	川	俊	博
監	事	三	豊	市	長	山	下	昭	史
監	事	綾	川	町	長	前	田	武	俊
		丸	亀	市	長	松	永	恭	二
		坂	出	市	長	有	福	哲	二
		善	通	寺	市	辻	村		修
		さ	ぬ	き	市	大	山	茂	樹
		東	か	が	わ	上	村	一	郎
		土	庄	町	長	岡	野	能	之
		小	豆	島	町	大	江	正	彦
		三	木	町	長	伊	藤	良	春
		直	島	町	長	小	林	眞	一
		琴	平	町	長	片	岡	英	樹
		多	度	津	町	丸	尾	幸	雄
		ま	ん	の	う	栗	田	隆	義